

## 基本方針5 地球環境に配慮し、周辺環境と調和した庁舎

### 基本的必要機能① 省エネ・環境配慮機能

#### 省エネルギー性能の向上

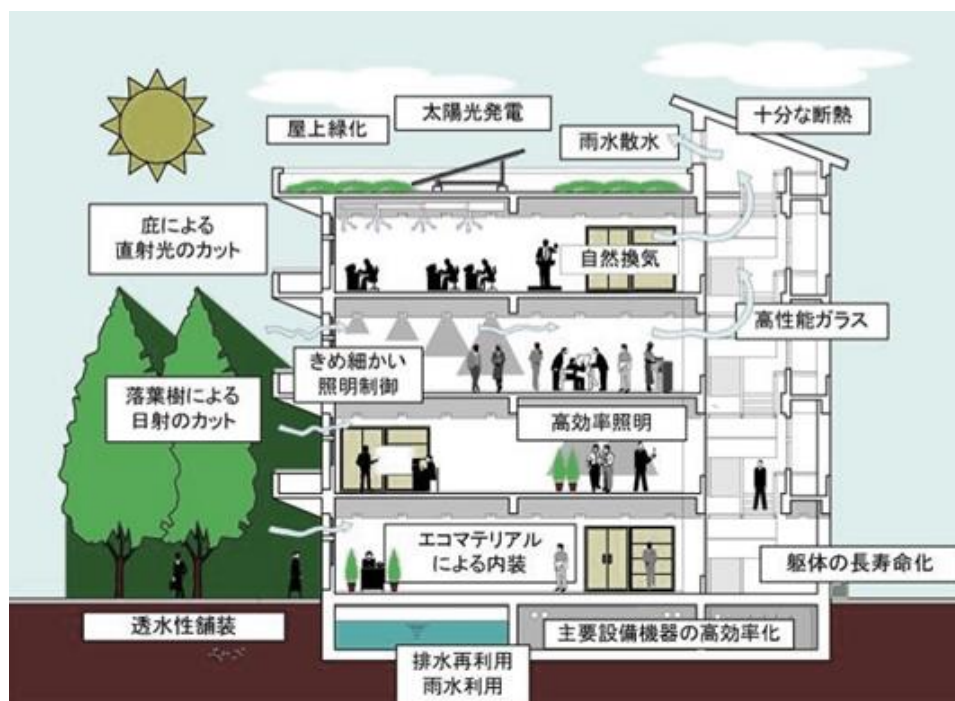
- 自然条件を考慮し、自然採光や自然通風を積極的に取り入れて、照明や空調負荷の低減化を図ります。
- 断熱性能の高い外装材の選定や、深い庇による日射遮蔽、エコマテリアル<sup>\*12</sup>の採用などにより、省エネルギー化と環境負荷の軽減に努めます。

#### 再生可能エネルギーの有効活用

- 太陽光発電装置の設置などによる、再生可能エネルギーの活用を検討します。

#### 高効率設備の採用

- LED照明などの高効率照明器具や、熱効率の高い熱源機器などの採用により、エネルギー使用の合理化とランニングコストの低減化を図ります。



[ 環境負荷低減に配慮した官庁施設(グリーン庁舎)のイメージ (国土交通省HPより)]

## 降灰対策機能

- 庁舎への灰の進入を防ぎ、溜まりにくく、除去しやすく、建物のメンテナンスの省力化と快適さの向上、建物の長寿命化を図ります。
- 降灰対策として、防汚性、清掃性に優れた内装仕上げ材を採用します。また、汚れの目立ちにくい色彩計画を検討します。

### 【 降灰対策の主な手法 】

- 灰の侵入を防ぐ
- 灰の堆積しにくい構造・形式にする
- 堆積、付着した灰を除去しやすくする
- 灰に影響されない空間をつくる



[ 現庁舎の屋上 ]

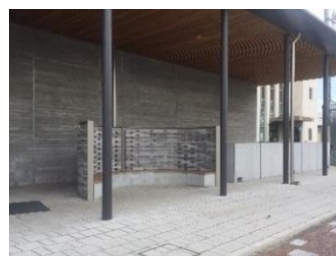
## 基本的必要機能② 周辺環境配慮機能

### 敷地整備

- 庁舎建物、駐車場、オープンスペースなどの各整備位置については、周辺との関係性や中心市街地からのアプローチなども踏まえた検討を行います。
- 敷地へのアクセスにおいて、利便性に配慮した公共交通の整備、安全でゆとりある歩行者空間の整備、様々なアクセス可能性を検討します。敷地内においても、庁舎利用者の安全面に配慮し、歩行者との車の動線が交差しないよう整備します。



[ 屋根付きのゆとりある駐輪スペース (国東市庁舎)]



[ 屋根付きのバス待合スペース (国東市庁舎)]

- 旧フェリー駐車場用地であることから、既存のロータリーを活かしつつ車でのアクセスにおいて安全性・利便性に十分配慮した車道整備を踏まえた検討を行います。
- 屋外駐車場や広場などのオープンスペースは、イベントスペースなどとの兼用を図ります。市民の活動の場、にぎわいや憩いの場となるよう検討します。



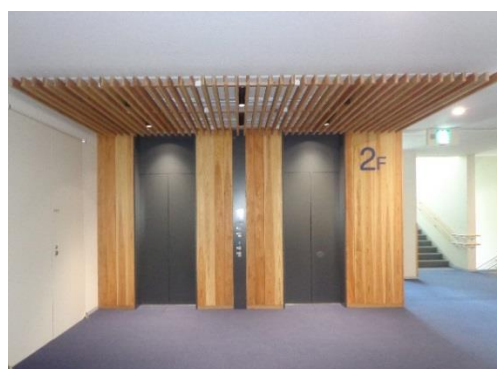
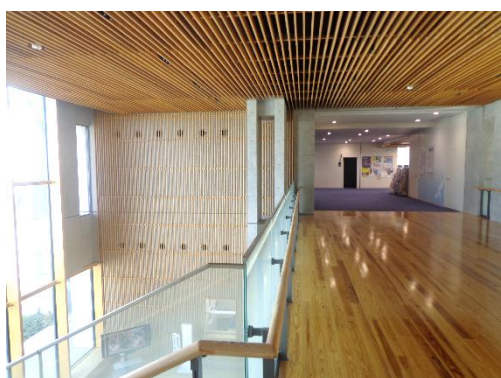
[ 屋上広場のある庁舎 (青梅市HPより)]



[ 市民広場 (青梅市HPより)]

## 庁舎デザインと景観形成

- 新庁舎は市の中心地区に位置し、市の代表的な建物となることから整備にあたっては、「鹿児島県景観条例」などに基づき、都市景観づくりの先導的な役割を果たすとともに、市民に長く愛され、垂水市の新たなシンボルとなる庁舎を目指します。
- 桜島や錦江湾を臨み、海に面する立地を活かした屋外スペースの検討を行います。豊かな自然に配慮し、周辺環境と調和した、シンプルで機能的なデザインを基調とします。
- 新庁舎の外構計画では、積極的な構内緑化により、市民の憩いの場の形成はもとより、良好な景観形成の誘導を図ります。また、構内緑化の整備・維持管理では、市民参画なども検討し、「愛着のもてる庁舎づくり」を目指します。
- 本市の木材資源を有効活用することにより、林業振興による地域経済の活性化の促進と、森林資源の循環を図り、森林の適正な整備・保全の推進を目指します。
- 地産地消の象徴として、新庁舎の建材や内装材、家具等に地域の木材を積極的に活用した親しみのある庁舎とすることで、人や環境にやさしい、地域の新しい拠点となるよう検討します。



[ 共用空間への木材利用（出水市庁舎） ]



[ 木質化された窓口フロア（四万十町庁舎） ]



[ 木質化された窓口フロア（那賀町庁舎） ]